第６学年　国語科学習指導案

1 単元名

資料を生かして呼びかけよう「未来に残そう！ぼくらの十二潟」

2 単元の目標

・　地域の方に自分の考えを伝えるために，資料を活用して十二潟に関する呼び掛けの文章を書こうとしている。＜関心・意欲・態度＞

・　地域の方に自分の考えが伝わるように，十二潟に関する複数の資料から自分の考えにあった資料を選択し，必要な情報を読み取り，十二潟を守ることを呼び掛ける文章を書くことができる。＜書くことア・エ＞

・　呼び掛けの文章の構成を理解することができる。

＜伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項＞

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語について 知識・理解・技能
・地域の方に自分の考え伝えるために，資料を活用して書こうとしている。	・十二潟を守ることを呼び掛ける文章を書くために，複数の資料の中から，自分に必要な資料を選択し，必要な情報を取り出している。（ア） ・地域の方に自分の考えが伝わるように，呼び掛けたいことにあった資料を使って書いている。（エ）	・呼び掛ける文章の構成を理解し，自分の文章に活用している。（キ）

4 単元と指導の構想

(1)　単元と児童

児童は，６月の「投書を書こう」で，読み手を説得させる構成や書き方について学習している。意見文は主に「序論-本論(理由)-結論」で構成されていること，頭括型，尾括型，双括型の３つがあること，理由の中で，自分の考えだけでなく，具体的な数字や体験したことなどの事実を入れると効果的であることは理解している。また，これらの構成や書き方を用いて意見文を書いた経験もある。しかし，自分の意見を効果的に伝えるために，適切な事例を示したり，事例を根拠に理由付けして自分の意見を述べたりすることはまだ不十分である。本単元では，総合的な学習の時間と関連させて，地域の「十二潟」について呼び掛ける文章を書く活動を設定した。この活動を通して，自分の考えを伝えるために，適切な資料を選択し，必要な情報を読み取り，その情報を基に理由付けをして書く力を高めることをねらいとした。

（２）　指導の構想

本単元の重点指導事項は，学習指導要領におけるＢ書く（１）ア「考えたことなどから書く

ことを決め，目的や意図に応じて，書く事柄を収集し，全体を見通して事柄を整理すること。」および，エ「引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書くこと。」である。

資料を効果的に活用して呼び掛けるためには，まずその目的意識をもたせる必要がある。そこで，導入の段階では，総合的な学習の時間で学習している地域の「十二潟」について想起させる。その問題を解決するための文章を書き，地域の方に読んでもらう（発表する）という目的意識を持たせる。また，総合的な学習の時間と関連させて，十二潟に対する意識を高め，どんな問題点があり，どんなことを呼び掛けるかを考える。

次に教科書の資料と例文から，資料のもつ効果や資料が文章の中でどのように活用されているか，どのような構成で書かれているかを読み取らせていく。効果的に資料を使うことで読み手に分かりやすく伝わること，単に資料を使っているのではなく，伝えたいことに合わせて適切に資料を選んでいること，また，資料を引用する際の引用の仕方なども学ばせていきたい。

教科書の例文での学びを生かして，資料を活用して呼び掛けの文章を書いていく。資料を効果的に活用するためには，自分の意見に合わせて資料を選択し，そこから必要な情報を取り出すことが重要になる。どんな資料を選択し，どんな事実を取り出すかは，個々によって変わってくるが，全体で資料の選択の仕方，情報の取り出し方を考えさせたい。

そこで，教師自作の意見文の序論や結論を提示する。問題点や解決策を示すために，どんな資料を選択するか，どんな情報を取り出すかを考えさせる。資料を選んだ理由を話し合わせることで，資料と意見とのつながりが大切であることに気付かせていきたい。また，適切な資料と情報を取り出すことができたとしても，記述の段階になると子どもたちは取り出した情報のみを示すことが多い。その情報を書き手がどのように解釈して，どのように意見とつなげているかが，読み手に伝わらない。単に取り出した情報を示すだけでなく，取り出した情報をどのように解釈し，意見とつなげているかが分かるように記述させていく。

5 単元の指導計画（全9時間）

時	学習のねらい(○)と主な活動内容（・）	評　価			
		関	書	言	評価規準
1	○単元のゴールを知り，目的意識と学習の見通しをもつ。 ・総合的な学習の時間「十二潟」の問題を想起し，十二潟についてどんなことを呼び掛けたいか考える。 ・十二潟の問題を解決するために，資料を活用して文章を書き，地域の方に発表するという単元のゴールを知る。 ・どのように学習を進めていくかを考える。	○			十二潟について呼び掛けたいことを考え，積極的に学習の計画を立てている。 (ノート)
2	○教科書の例文から写真・図・グラフの特徴を理解する。 ・写真・図・グラフの資料から分かることを読み取る。 ・それぞれの資料の特徴を考え，まとめる。		○		写真・図・グラフの資料を読み取り，それぞれの特徴を理解している。(ノート)

3	○教科書の例文の文章構成を読み，資料がどのように活用されているか考える。 ・教科書の例文がどのような文章構成になっているかを読む。（双括型） ・本論部分が，どのように展開されているかを読み取る。（問題点−原因−解決策） ・資料がどこで，どのように使われているかを考える。 ・「資料の説明」+「資料から分かる事実」+「理由付け」で資料が活用されていることを知る。			○	双括型の文章構成になっていること，資料がどのように活用されているかを理解している。（ノート）
4	○意見（呼び掛けること）を決め，十二潟に関わる資料を読む。 ・「序論」−「本論（問題点・原因・解決策）」−「結論」の文章構成を確認する。 ・意見（呼び掛けること）を考え，構成メモを書く。 ・十二潟の資料を読み取り，問題点・原因・解決策のどこを示すのに使えそうな資料か考える。		○		意見を決め，十二潟に関わる資料を読み取る。（問題点，原因，解決策のどこで使えそうか考える。）ア（ワークシート）
5	○意見とつながる「問題点」を示す資料を選び，必要な情報を取り出す。 ・教師自作の意見文の序論を提示し，意見につながる「問題点」を示す資料はどれか，どんな情報を取り出すとよいか考える。 ・自分の意見文で「問題点」を示す資料を選び，その資料から必要な情報を取り出す。		○		問題点を示す適切な資料を選び，必要な情報を取り出している。ア（文章構成表）
6 本 時	○意見とつながる「解決策」を示す資料を選び，必要な情報を取り出す。 ・教師自作の意見文の結論を提示し，意見とつながる「解決策」を示す資料はどれか，どんな情報を取り出し，どんな解決策を示すかを考える。 ・自分の意見文で「解決策」を示す資料を選び，その資料から必要な情報を取り出す。		○		解決策を示す適切な資料を選び，必要な情報を取り出している。ア（文章構成表）
7	○文章構成表を基に，下書きを書く。 ・文章構成表を基に，下書きを書く。その際に「資料の説明」＋「資料から分かる事実」＋「理由づけ」で書けているかどうかを確かめながら書く。		○		資料から取り出した情報だけでなく，意見につながる理由付けを書いている。エ（下書き）
8	○意見文を清書する。 ・友達同士で推敲し，清書する。		○		友達同士で推敲し，清書している。エ（清書）
9	○友達と交流し，ふり返りをする。 ・完成した意見文を交流し，互いの良さを見つける。 ・今までの学習を振り返り，「振り返り」を書く。	○	○		意見文を交流し，互いの良さを見つけている。（付箋）

6 本時の計画（6時間目／全9時間）

(1) ねらい

意見文の資料選択について，提示された教師自作の意見文の結論とつながる資料を選択し，その資料から必要な情報を取り出す活動を通して，資料の選択の仕方と情報の取り出し方を理解し，十二潟についての意見文に活かすことができる。

(2) 構 想

子どもたちは，これまでに教科書の例文を基に文章構成を考え，自分の意見を考えている。本単元の十二潟にかかわる資料も読み取っている。また，前時は教師自作の意見文をもとに，どんな問題点があるか考え，それにつながる資料を選択し，選択した資料から必要な情報を取り出した。

本時は，解決策につながる資料を選択し，必要な情報を取り出すことをねらった授業である。まず，教師自作の意見文の結論を示す。結論には，本論のまとめと序論の意見が再度述べられている。この結論を基に，解決策を示す段落では，どのような資料を選択し，どのような事実を取り出し，どのような解決策が示せるかを考えさせていく。子どもたちには，結論の文章を吟味しながら，それにあった資料はどれか，どんな情報を取り出したら意見につながるかなど，結論とのつながりを意識しながら考える姿を期待する。個々に考えた後に，グループで書き手の意見を伝えるために最も説得力のあるものはどれかを話し合いながら選ぶ。グループでその資料を選択した理由を問うことで，結論とのつながりを考えて資料を選択し，解決策につながる情報を取り出すことが大切であることを押さえる。

このことを活かし，今度は十二潟の意見文でも資料を選択し，選択した資料から必要な情報を取り出し，解決策を具体的に考えさせる。考えたものは文章構成表に書き込ませていく。このとき，一人で資料を選択したり，必要な情報を取り出したりできない子どももいると考えられる。随時，友達と相談しながら進めてもよいこととする。

(3) 展 開

学習活動	教師の働きかけと予想される子どもの反応	■評価規準・○留意点
導入 1．教師自作の結論を提示し，本時の課題を知る。 （10 分）	T1 前の時間は，本論の「問題点」を示す段落について考えていましたね。 T2 本時は，どこについて考えるのですか。 C１本論の「解決策」を示す段落です。 T3 先生も自分の意見文で，結論は考えたのだけど，「解決策」を示す段落でどのような資料を使えばいいか，どんな事実を取り出せばいいか，どんな解決策を示せばいいか悩んでいます。みんなにも考えてほしいのです。 結論 このように、ふだんの自分の生活を見直すと、二酸化炭素の排出量を削減するために、皆さんのような小学生にもできる工夫があります。一人一人の少しの改善が合わされば、きっとたくさんの量の二酸化炭素排出を削減することができるでしょう。皆さんも、二酸化炭素を削減するために、ふだんの生活を見直し、自分にもできる少しの改善を続けていきましょう。	○前時までの考えた意見文を提示する。 ○結論を提示する。

	C2「ふだんの生活を見直し，自分にもできる少しの改善を続けていきましょう。」というのが先生の意見だね。 課題 「解決策」を示す段落では、どんな「資料」を使い、どんな「事実」を取り出し、どんな「解決策」を示せばいいか。	○課題を板書する。
展開 ２．どんな資料を選択し，どんな事実を取り出し，どんな解決策を示すかを考え，話し合う。 （25 分）	T4 黒板にＡ～Ｅまでの資料があります。 この中から，解決策を示すのにふさわしい資料を、一つ選んでください。資料を選んだら，その資料から分かる事実と考えられる解決策を書いてください。 （自力解決５分） T6 それでは，班ごとに先生の意見伝えるために最も説得力のある考えを一つ話し合って決めてください。 （班での話し合い１０分） C3 私は，資料Ａを選びました。車は，鉄道の９倍も二酸化炭素を出していることが分かります。だから，できるだけ車を使わないようにするという解決策を考えました。 C4 でも，結論には小学生の私たちにもできる工夫をしましょうと言っているから，車を私たちは運転できないから，私たちにできる工夫にはならないと思うだけど。 C5 私は，資料Ｂを選びました。この資料から緑のカーテンは，日光をさえぎり，夏もすずしく過ごせ，実際に最大で５℃以上の差があることが分かります。夏にゴーヤなどを植えて，エアコンの設定温度を上げるという解決策を考えました。 C6 なるほどいい解決策だね。でも，夏にしかできないことですね。冬場やほかの季節はなかなか取り組めませんね。 C7 私は，資料Ｃを選びました。この資料からアルミ缶をリサイクルすると，リサイクルしない場合に比べて，97％も節約できることが分かります。だから家から出すアルミ缶は，全てリサイクルするという解決策を考えました。	○資料を提示する。 ○結論と資料を配布する。（ワークシート） ○なかなか選べない子には「結論」に着目させ，「小学生にもできる少しの工夫」につながりそうな資料を探させる。 ○グループでの話し合いは司会･記録･発表者を決める。 ■結論の文章を考えながら，適切な資料を選択し，必要な情報を取り出し，解決策を考えている。 ＜ワークシート＞

	C8 確かにいい解決法ですね。でも，アルミ缶のリサイクルはすでに当たり前にやっている家庭が多いと思うな。 C9 私は，資料Dを選びました。資料Dを見ると，一日60分テレビを減らすと年間で13ｇ二酸化炭素を減らすことができます。だから，私は見ていない時はテレビを消すという解決策を考えました。 C10 たった13ｇしか減らせないのだったら，あんまり効果がないと思うけれど。だったら，一日10 分車を減らした方が，たくさんの二酸化炭素を減らすことができるでしょ。 C11 でも，車に乗る時間を減らすのは，私たちが直接できることではないから，難しいと思うよ。 C12 私は資料Eを選びました。資料Eを見ると，太陽光発電をすると，年間で3,133ｇの二酸化炭素量を減らすことができます。だから，私は家を太陽光発電にするという解決策を考えました。 C13 太陽光発電は，確かに二酸化炭素の削減に効果があると思うけれど，すごくお金がかかると思うよ。小学生の私たちにはすぐにできることではないと思う。 C14 では，どの考えが一番説得力があるかな。 C15 資料Dは，削減量は少ないけれど，毎日取り組めそうなことがあるよ。 C16 どのことなら取り組めそうかな。 C17 一日２分シャワーを少なくするのなら，気を付ければできるかも。 C18 私はできるだけ暖かい服装をして暖房を１℃あげる取組ならできると思う。 C19 ○○班は，資料Dを選びましょう。資料Dからは，冷暖房を１℃調節すると，32ｇの二酸化炭素が削減できることが分かります。だから，冬場は厚着をして，夏場はよしずなどで直射日光を避けて，１℃の調節をするという解決策を考えました。 T7 各班発表してください。　（5分）	

	（各班発表する） T8　各班の発表に対して質問や意見はありませんか。 （それぞれの班に対する質問や意見） T9 それでは，各班の発表をまとめると，この学級では，資料〇が一番説得力あるということで支持を集めたということになりますね。 T8　　ではなぜ，資料〇がよいと思ったのですか。 C20 資料を選ぶ時は，削減できる二酸化炭素の量に注目して選びました。多い方がいいと思ったからです。 C21 事実を取り出す時は，解決策にかかわるような事実を取り出すようにしました。 C22 解決策は，結論にある「小学生にもできること」「ふだんの生活を見直してできること」を考えました。 まとめ 結論の意見とつながる資料を選び、解決策につながる事実を取り出し、意見と合った解決策を示すとよい。	〇多くの子が選ばなかった資料がある場合は，選ばなかった理由を問う。 〇話し合った結果，どの資料が一番支持を集めたものかを確認する。 〇資料が選ばれた理由を問うことで，まとめにつなげる。
終末 5. 自分の意見に合った資料を選択し，必要な情報を取りだし，解決策を考える。(10 分)	T10　自分の意見文の「解決策」を示す段落の資料を選択し，取り出す「事実」，「解決策」を考え，文章構成表に書きましょう。 C23 ぼくは，「地域で外来種の駆除活動を行う」ということを解決策で考えているから，駆除活動の効果が分かる写真を使おう。この資料から，駆除活動の前後で効果があったことが分かる。だから，みんなで駆除活動を続けていくという解決策を示そう。 C24 この資料は，〇〇さんの意見とつながっていていいね。どんな外来種を駆除しているかも示したら，もっと分かりやすくなると思うよ。	〇自分の考えた資料・事実・解決策は文章構成表に書かせる。 ■自分の意見に合った資料を選択し，必要な情報を取り出し，解決策を書いている。＜文章構成表＞

(4) 評 価

・自分の意見に合った資料を選択し，必要な情報を取り出し，解決策を考えている。(文章構成表)

B評価

例）　資料：地域住民に「十二潟の活動で参加したいこと」に関するアンケート

この資料を見ると，「自然環境を保全する活動」に参加したいと思っている人が一番多いです。だから，地域の方が参加し，楽しめるような活動を企画すればよいと思います。

7　参考文献・資料

・小学校学習指導要領解説　国語編，文部科学省
・平成２５年度　新潟県学習指導改善調査　６年　国語問題　　新潟県学習指導研究会
・十二潟ガイドブック　新潟市北区役所区民生活課